

平成 26 年 5 月 13 日

各 位

株式会社 北洋銀行

「ほっく一基金」における平成 25 年度の寄付先を決定しました

北洋銀行は、「ほっく一基金」(別紙参照)における平成 25 年度の寄付先として、北海道の生物多様性保護に取り組まれている下記の 6 団体を決定し、それぞれ 100 万円、合計 600 万円の寄付を行います。

寄付先は、使途の明確化、公平性、および透明性を図るため、当行、北海道、北海道環境財団、および日本動物園水族館協会北海道ブロックで構成される「ほっく一基金選定協議会」(3 月 26 日開催)における協議を経て決定いたしました。併せて贈呈式を下記の日程で開催しますので、ご案内いたします。

当行は、今後も環境に配慮した商品や金融サービスの提供を通じて、環境保護に取り組むお客さまを支援するとともに、「地域社会への貢献」を経営の重要課題とし、CSRへの取組みを強化してまいります。

記

<「ほっく一基金」贈呈式 開催日程>

日時	寄付先	場所
5 月 23 日(金) 13 時	アポイ岳ファンクラブ	様似町役場内
6 月 6 日 (金) 14 時	北海道生物多様性保全活動連携支援センター(HoBicc)	北海道環境財団内
6 月 12 日(木) 13 時 30 分	北海道ウチダザリガニ防除ネットワーク	遠軽町役場内
7 月 9 日 (水) 13 時	一般社団法人 湿原研究所	湿原研究所内
7 月 10 日(木) 14 時	NPO 法人 えんの森	えんの森事務所内
7 月 11 日(金) 11 時 30 分	釧路市動物園	釧路市動物園内

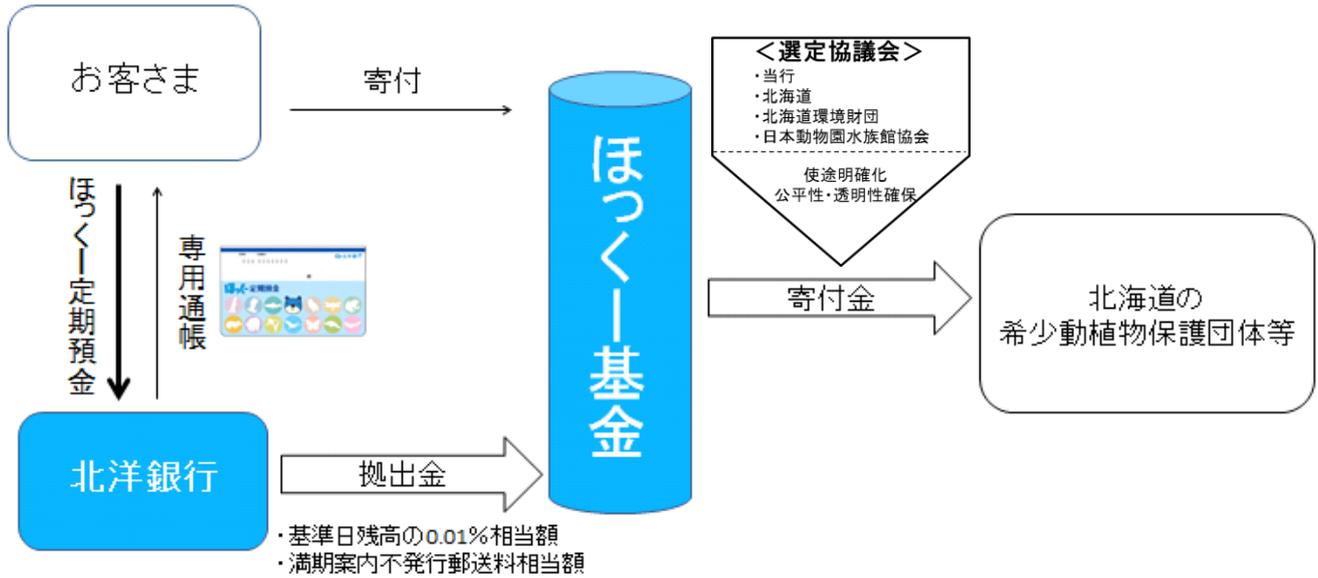
以 上

本件に関するお問い合わせ先

経営企画部広報室	奥芝	TEL:011-261-1317
経営企画部 CSR 推進室	渡辺	TEL:011-261-1151

1. ほっくー基金の概要

● 「ほっくー基金」の概略図



● ほっくー定期預金(平成 25 年度取扱)

「ほっくー基金」の主な原資として、平成 22 年 9 月から「ほっくー定期預金」の取扱いを開始しています。お客さまからお預け入れいただいた「ほっくー定期預金」の平成 26 年 3 月 31 日時点残高の 0.01%相当額、および満期案内不発行で削減される郵送料相当額を、当行が基金に拠出しました。

2. 寄付先の詳細

寄付先	内容
アポイ岳ファンクラブ	アポイ岳の貴重な高山植物と自然を次世代に残すため、高山植物の盗掘防止パトロール活動や登山道整備を実施しています。アポイ岳固有の高山植物再生のための調査・モニタリング機器費用、および高山植物群落復元のための活動費用として、助成させていただくこととしました。
北海道生物多様性 保全活動 連携支援センター (HoBiCC)	全国初の総合的な条例である「北海道生物の多様性の保全等に関する条例」の制定を踏まえ、本年 4 月に 3 団体(*)が共同で設立し、自然環境保全の支援に取り組む組織です。生物多様性をテーマとした設立記念フォーラムの開催費用、および外来種対策事業費用等として、助成させていただくこととしました。 (*) (公財)北海道環境財団、(独)北海道立総合研究機構環境科学研究センター、(財)北海道新聞野生生物基金
北海道ウチダザリガニ 防除ネットワーク	特定外来生物であるウチダザリガニの防除活動を行っている道内各地の市民団体が連携をとり、外来生物防除の重要性を社会に浸透させるために組織されました。活動の普及啓発資材等の作成費用、およびフォーラムの開催費用として、助成させていただくこととしました。
一般社団法人 湿原研究所	十勝地方の海岸沿いに点在する湿原のラムサール条約登録と、湿原の保全ならびに持続可能な利用を目指し、調査・研究や、普及啓発活動を実施しています。当該地域における「生物多様性の経済学」研究費用、札幌市等の博物館に収容する植物標本制作費用等として、助成させていただくこととしました。
NPO法人 えんの森	浜中町・別海町の酪農家を中心となり、イトウなどの繁殖や生息環境整備のため三郎川(風蓮川支流)への魚道設置、および緑の回廊作り等の環境保全に取り組んでいます。平成 25 年 9 月の豪雨により一部損壊した魚道の再建費用として、助成させていただくこととしました。
釧路市動物園	傷病タンチョウの治療や、絶滅危惧種であるシマフクロウの保護増殖など、野生動物の保護・育成に取り組んでいます。傷病タンチョウの治療器具費用、およびシマフクロウ保護増殖費用等として、助成させていただくこととしました。